

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたい、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

「氷河期世代の真実」

SNSでは周期的に「氷河期世代」にスポットが当たります。厳しいデフレ経済の渦に巻き込まれ、20代では就職機会に恵まれず、30代、40代と非正規雇用のまま低賃金労働者として不安定な生活から抜け出せず、ゆえに家庭を持つこともままならず、気づけば年齢的にリストラの対象として扱われている辛酸と悲哀が格好の投稿ネタとなっているようです。

就職氷河期を生んだ要因はバブル経済の崩壊と学卒年代の人口過多の不運な一致です。氷河期世代は現在の少子化社会では考えられないベビーブーム世代で大半は兄弟が2人ないし3人いる世代です。大卒年齢時には180万人～210万人が職を求めました。求人難とされる現在は120万人程度昨年生まれた子は70万人を切りました。

「氷河期世代に生まれたばかりに損をしている」と感じている労働者は多いでしょう。しかし、直近30年間は何の世代にとっても等しく厳しいものでした。政府が50歳に差しかかろうとする氷河期世代ヘリスキングによる支援を行う動きはありますがすでに時が立ち過ぎました。失われたものはリスキングでは取り返せません。

その一方で、今の日本企業を牽引してくれているのも働き盛りを迎えた40代～50代前半の氷河期世代にあたる方々なのです。コロナ不況の克服からデフレ脱却まで、日本経済を回復軌道に乗せる指導力を発揮する世代です。これも真実の一面であることを申し上げたいのです。



当社ではこの4月1日(火)、9名の新卒社員を迎え入れることが出来ました。ひとりでも多くの若い力を大切に育て上げたい。会社を通して彼らの人間形成の役に立ちたいと存じます。ぜひとも、大切な生徒様の進路先に当社を加えてください。新年度も、東葉警備保障株式会社をどうぞよろしくお願い申し上げます。

松本 隆一郎